



Travel Set

陸上・航空・鉄道の乗り物を使って、分類したり、比べたり、旅について話したりします。分類する力、言葉の発達、少人数でのごっこ遊びを支えます。

内容

3台の乗り物

対象市場

家庭・教育の両方

■ セットの内容



Baby Train

11 × 6.6 × 8 cm



Baby Helicopter

9 × 9 × 7 cm



Baby Aeroplane

9 × 8 × 9 cm

■ 子どもが学ぶこと



どうやって移動する？

レール、道、空。同じ問いに対する3つの違う答えです。



分類

どこを行くか、車輪はいくつか、誰が乗れるかで分けます。



旅の言葉

「出発する」「～に沿って進む」「～の上を通る」「～の下を通る」「到着する」「待つ」「次の停留所」などの言葉。



手先の器用さ

レールの上を転がし、運転手をひねり、プロペラを回します。



旅の体験を共有する

誰もがどこかに行ったことがあります。どの子にも語れるお話があります。



想像力

今日はどこへ行く？ 答えは二度と同じになりません。

■ テーマ

乗り物

旅

休暇

私たちの地域

分類

わたしたちの暮らす場所

音



Learning through play

ひとつのセットで5年間遊べる



セットの4つの使い方

- ひとりで発見する：6～18か月**
乗り物は1台ずつ。握って、回して、押して、追いかけます。
- 大人と2人で遊ぶ：12か月以上**
電車を رفتり来たりさせます。着くたびにアナウンスします。子どもが送り返すのを待ちます。
- 少人数グループ：2～5歳**
1人1台の乗り物。駅、空港、ヘリポートをつくって、つなげます。
- 常設の遊びコーナー**
積み木コーナーに乗り物を加え、1週間かけて交通の世界がひとりでにできあがるのを見守ります。

保育の現場で

- 小さな部品なし、電池なし、交換するものなし
- 拭いてきれいにできます。砂、水、屋外でも使えます
- 浅いトレイ1つに平らに収まります。片づけは子ども自身でできます
- 乗り物3台、それぞれ異なる3つの役割。保育者が進行する少人数のグループ活動に適しています。

観察のポイント

- ☐ お子様は、空を飛ぶ乗り物がどれかわかりますか？
- ☐ 移動の音を、自分から出していますか？
- ☐ 大人が示したルールで分け、その次に自分でルールを考えられますか？
- ☐ 「沿って」「上を」「下を」「通り過ぎて」を正しく使っていますか？
- ☐ 旅には、はじまり、途中、到着がありますか？
- ☐ おもちゃを、実際に行った旅と結びつけていますか？

学びの領域

- 身体の発達
- コミュニケーションと言葉
- 人間関係と心の発達
- 身近な世界の理解
- 数学
- 表現活動

セットを広げる

乗り物が1台増えるごとに、分類できるものや語れる旅の物語が増えます。Emergency setと組み合わせれば地域社会のさまざまな場面を再現でき、Speedと組み合わせればスロープと線路の両方を使った遊びができます。



Baby Jeep



Baby Roadster



Baby Fire Engine



Baby Racer



1 ご乗車ください

12～24か月
子ども1人+大人

用意するもの

電車。何もない床か、低いテーブル。

進め方

1. 子どもと向かい合って座り、間の床を空けておきます。
2. 電車を押しながら、「ご乗車ください」「到着しました」と言います。
3. 待ちます。大人が手伝う前に、子どもが送り返す時間をとります。
4. 途中で停車駅を1つ加え、毎回そこで止まります。

学びのねらい

順番を待つ 予測 言葉 手先の器用さ

やさしく — もっと近くに座り、電車を短い距離だけ転がします。

難しく — 停車駅を2つ加え、どちらへ行くかは子どもに決めてもらいます。

注目ポイント

声をかけられなくても、お子様は駅で電車を止められますか？ これは、遊びの中の決まった手順が身についてきたしるしです。

2 陸・空・レール

2～4歳
子ども2～4人

用意するもの

乗り物3台すべて。フープ、トレー、または紙3枚。

進め方

1. 3つのフープに、それぞれ「空」「道路」「線路」の目印をつけます。絵を使うだけでも十分です。
2. 乗り物を1台ずつ見せて、どこに属するか尋ねます。考える時間をとります。
3. 分け終わったら、3つの同じところと違うところを尋ねます。
4. ほかのTOLOのセットの乗り物を加えて、もう一度分けます。

学びのねらい

分類 推論 語彙 世界を知る

やさしく — フープは2つだけ。空と地面。

難しく — グループに自分たちの分け方のルールを考えてもらい、ほかの子に当ててもらいます。

注目ポイント

ヘリコプターは2か所にあてはまる、と主張する子は、間違っているのではなく、よく考えています。

3 移動の音

18か月～3歳
子ども1～4人

用意するもの

乗り物3台すべて。

進め方

1. 乗り物1台の音をまねして、3台すべてを持ち上げます。どれだったかな？
2. 役を交代します。子どもが音を出し、大人が当てます。
3. 乗り物ごとに、その音に合う動かし方をします。ガタゴト、ブーン、スイー。
4. 最後は、3台とも動かしながら、音も一緒に出します。

学びのねらい

聞く力 発話の音 マッチング 動き

やさしく — 音がまったく違う乗り物2台にします。

難しく — それぞれの乗り物の音を速く出したり、ゆっくり出したりして、その速さに合わせて乗り物を動かします。

注目ポイント

似た音を聞き分けるのは、音韻意識のはじまりで、読む力の土台です。



4 どこへ行こう？

3~5歳
子ども2~5人

用意するもの

乗り物3台すべて。行き先4か所（海辺、農場、おばあちゃんの家、島）の絵や名前を用意します。

進め方

1. みんなで行き先を決めます。
2. どの乗り物で行けるか、複数の乗り物で行けるかを尋ねます。
3. そこへ向かいながら、グループで旅を声に出して語ります。
4. 行き先を、1つの乗り物でしか行けない場所に变えます。

学びのねらい

推論 物語 地理 話す

やさしく — 場所は2か所、それぞれにわかりやすい乗り物を1つずつ。

難しく — 旅の途中に問題を加えます。レールが水びたし。さあ、どうする？

注目ポイント

2区間の旅を計画する子に耳を傾けましょう。これは、本当に高度な考え方です。

5 駅をつくろう

3~5歳
子ども3~6人

用意するもの

乗り物3台すべて。積み木、箱など、組み立て遊びのコーナーにある材料を用意します。

進め方

1. 子どもたちを3つの少人数グループに分け、それぞれ駅、空港、ヘリポートをつくってもらいます。
2. つくって、3つを道かレールでつなぎます。
3. 乗り物がある場所から別の場所へ送り、うまくいくか見ます。
4. うまくいかないところは、みんなで直します。

学びのねらい

組み立てる 協力 問題解決 計画する

やさしく — 1か所をみんなでつくり、そこへ行き来します。

難しく — 時刻表を加えます。電車は飛行機が着く前に出発しなければなりません。

注目ポイント

3つの建物のつなぎ目に注目しましょう。話し合いが生まれる場所です。

6 わたしたちの旅

3~5歳
子ども3~6人

用意するもの

乗り物3台すべて。輪になって座れる場所。

進め方

1. 子どもそれぞれに、実際に行った旅を思い出してもらいます。
2. 自分の移動手段にいちばん近い乗り物を選び、話すあいだ持ちます。
3. ほかの子は聞きます。お話が終わったら、乗り物を次の子へ渡します。
4. 最後に、実際の旅でそれぞれの移動手段を使ったお子様が何人いたかを数え、乗り物の種類ごとに分類します。

学びのねらい

話す 聞く力 データ 所属感

やさしく — まず大人が自分の旅の話をし、そのあとお子様に1人ずつ旅の体験を話してもらいます。

難しく — 結果を積み木の簡単なグラフにして、一緒に読みます。

注目ポイント

話す人がおもちゃを持つことで、今は誰が話す番なのかが目で見てわかります。順番を待つのが難しいお子様にも役立ちます。

